

2019年度 大学教員・研究者のための研究滞在奨学金 募集要項

1. 目的：

この奨学金は、原則として既に博士号を取得し、日本国内の大学や研究機関で職務についている大学教員・優秀な研究者が、ドイツの国公立ないし国から認可された大学や研究機関において、それぞれの分野の専門家と情報交換やネットワーク構築を行うための研究滞在を支援するものである。

2. 給付期間：

1ヶ月から3ヶ月。給付期間は研究内容や計画に基づき、選考委員会による選考会の際に決定される。延長は認められない。

3. 給付内容：

- 1) 月額 2,000 ユーロ（助手、助教授、講師）
月額 2,150 ユーロ（教授）
- 2) 旅費 875 ユーロ、ただし他の機関から支払われない場合に限る。

4. 応募資格：

- 1) 博士号を取得していること
- 2) 日本国内の大学、或いは研究機関において職務についていること
- 3) 研究計画はドイツ国内の研究滞在先から了承を得ていること。ワークスペースが確保されていること。
- 4) アレクサンダー・フォン・フンボルト財団の元奨学生は、まずフンボルト財団へ問い合わせること。

5. 応募方法：

応募申請は DAAD ポータルより行う。DAAD ポータルで応募書類を作成、送信後、応募書類一覧 (Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary) を和文申請書と一緒に DAAD 東京事務所へ応募締め切りまでに提出。和文申請書以外の書類はすべて独文または英文で作成すること。

DAAD ポータル上での提出書類 (独文または英文)

- 1) 願書：DAAD ポータルに登録し、作成する。
- 2) 履歴書 (書式自由、3 ページ以内)：
学歴、職歴、研究歴、取得した学位、資格、賞歴等(年月日記入)を空白の時期がないよう詳しく記載する。
- 3) 出版物リスト (書式自由、3 ページ以内)：
発表論文 (学士論文または修士論文等も含む)、著書のリスト。
- 4) 研究計画書 (書式自由、10 ページ以内)：
志望の理由、研究滞在中の計画および帰国後の計画を詳しく記載する。
- 5) タイムスケジュールと研究先 (書式自由)：
研究計画をどのようなタイムスケジュールで、どの大学・研究所で実現しようと考えているのかを記載する。研究先は複数でもよい。
- 6) 受入承諾書 (書式自由)：

ドイツの研究滞在先の大学もしくは研究機関からの受入承諾書（研究計画への了承とワークスペースの確保が明記されていること）

郵送提出書類

- 1) 和文申請書 1通（所定用紙、DAAD 東京事務所の HP よりダウンロード可）
- 2) 応募書類一覧（Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary） 1部：
DAAD のポータルで書類提出後、応募が受理されると、確認の通知と共に応募書類の一覧（Bewerbungszusammenfassung/ Application Summary）が送られてくる。
これを1部印刷したもの。
- 3) 郵送書類提出先（消印有効）：
ドイツ学術交流会（DAAD）東京事務所（郵送、宅配便で送付）
〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56 ドイツ文化会館1F
Tel : (03) 3582-5962

応募期限

2018年10月15日（2019年3月～7月の間に渡航）

2019年4月15日（2019年8月～2020年1月の間に渡航）

注 意：

- ① 特に記述の無い場合、証明書類はすべてコピーで良い。合格者には最終決定後これらの証明書の原本提出を個別に依頼することがある。
- ② 提出書類は、A4判で統一する。原本がA4判でない場合はA4判の大きさに折りたたみ、コピーはA4判でとること。両面印刷は禁止。
- ③ 提出書類に不備があった場合、応募は無効となる。
- ④ DAADのポータルは応募締め切り日の24時（中央ヨーロッパ標準時（MEZ））に閉鎖される。
- ⑤ 締め切り日後の書類提出は一切受け付けない。
- ⑥ 応募書類は返却されない。また、応募者のデータは応募手続きの処理に必要な限り、ドイツ連邦データ保護法とEU一般データ保護規則に則りDAADに保管される。
- ⑦ 書類については、DAAD東京事務所HPの「[よくある質問](#)」のコーナーも参照すること。
- ⑧ 書類の持参は例外を除き不可とする。

6. 選考：

書類審査のみ。審査は専門家による独立した選考委員会によって行われる。最終決定は応募締め切りの3～4か月後にDAADポータルを通して通知される。